

2000 年前のオオガハス 7/10 頃まで見ごろ

川村記念美術館の庭園では、オオガハスが見ごろを迎えています。10 日頃迄が最盛期と予想していますが、今年はまだまだ蕾も多く、花は7月中旬以降も楽しめそうです。オオガハスは植物学者の大賀博士によって千葉市花見川区の泥炭層から発見された約 2000 年前の古代ハスで、当館のハスは発掘された種子の栽培に成功した千葉県農業試験場より寄贈いただいたものです。寄贈から 20 年が経ち、現在では 310 m²の蓮池の一面を覆うほどになりました。午後には花が閉じてしまうため午前中のご観賞をおすすめしています。その他、園内では紫陽花や睡蓮、ヤマユリもお楽しみいただけます。

開園時間：午前9時30分～午後5時

休園日：月曜日（祝日の場合は開園し、翌火曜日に休園）

入園：無料

アクセス：京成佐倉駅またはJR佐倉駅より無料送迎バスで約30分/20分
東関東自動車道・佐倉ICから約10分（無料駐車300台）



館内では7月19日（月・祝）まで「ジョゼフ・コーネル×高橋睦郎 箱宇宙を讃えて」展を開催中。当館でも人気のコーネル作品を現代詩人の新作とともに星が瞬く展示空間でご覧いただけます。

.....<取材および資料請求のお問い合わせ先>.....

川村記念美術館 tel. 043-498-2672 / fax. 043-498-2139（掲載用 0120-498-130）

広報担当 林里絵子 rieko-hayashi@ma.dic.co.jp / 海谷紀衣 norie-kaiya@ma.dic.co.jp